

第3回 那須塩原駅周辺まちづくりビジョン市民懇談会 会議録（要旨）

開催日時：令和3年1月27日（水）午後3時から午後5時まで

開催方式：オンラインによるビデオ会議

参加委員：10名（5名欠席）

事務局：3名

1 開 会（午後3時）

2 報 告（事務局より報告）

(1) まちづくりビジョン（素案）パブリックコメント結果について

事務局：ただいま報告しました内容について、御質問等があればお願いします。

委員：根幹にかかわるものでないので、事務局案でよい。

委員：「示す」という表現があるが、「取組む」など前向きな表現にできればと思います。

委員：P1の人的資源の枯渇という表現がある。生産年齢人口の減少のことを言っているのかと思うが、違う表現の方がよいと思う。

委員：人材という表現がいくつか出てくるが、材という表現は使わない方がよいと思う。

委員：P4、人口減少に歯止めがかかるとあるが、もう少しポジティブな表現にできないか。

委員：P1はじめにの「人的資源の枯渇」という表現について、まず使わない方がよい。どういうことを言おうとしているのかわからない。那須塩原市にはいい人材がいないと受け取れる

事務局：人口減少による働き手、生産年齢人口の減少という意味で使っていたが、表現は修正したい。

3 議 事（進行：石井会長）

会長：まちづくりビジョン（素案）について、議論をしたいと思います。今回の議論を経て最終稿となりますので、本日議論を尽くしたいと考えています。

委員：プロローグの部分について、少し暗い印象を受ける。

委員：少し暗い印象は受けるが、那須塩原市は星がきれいという意見もあったように夜のイメージでこれはこれでよいと思う。

委員： 全体的に横文字が多い。注釈や解説をいれてもらった方が、わかりやすいと思います。

委員： 人口について、RESAS（リーサス：地域経済分析システム）で調べたが、何もしないとずっと人口は減る推計になっている。P3のグラフもあの減少幅に抑えることが理想であって、もう少し前向きというのは現実的には難しいと思う。

委員： このまちづくりビジョンは、いろんな人が見ることになると思う。読みやすいものであってほしい。難しい言葉や長い文章は理解しにくい。誰でも、どの世代が見てもわかりやすいものにしてほしい。

会長： 文章の表現について、体言止めのものや意見などは原文そのままのものがある。表現は統一するのか。

委員： アンケートの意見は、できるだけ原文のままの方が、それぞれの意思が伝わると思う。

委員： 有識者会議の方は表現を統一した方がよいと思う。アンケートの意見は原文のままで、誤字脱字等は直して句読点は全てつける方がよい。

会長： 注釈でアンケートについては、原文のまま掲載している旨記載すればよいと思う。

事務局： 御意見を踏まえて修正したい。

まちづくりビジョン冊子のデザインについて（事務局より説明）

委員： デザイン（案）の表紙イラストについて、駅の位置関係が実際と異なる。事務局としては許容範囲と考えているのか。

委員： 角度をもっと上空からにすれば解決できるのではないか。

委員： イラストにすることで、わかりやすくてよいと思う。イラストなので、写真（リアル）とは違ってよいと思う。

委員： 有識者会議のイラストについて、委員の先生方がよければイラストで良いと思うが、イライラ感が出ていると感じるので、表現を少し工夫してほしい。

委員： 駅のテーマカラーがあればそういった色を使うのも一つだと思う。

委員： 那須塩原駅に近い東那須野公園は水仙を植えており、名所となっている。黄色のイメージはよいと思う。

委員： 市のテーマカラー、市章の緑を基調としてもよいのではないか。

委員： 表紙のイラストについて、もう少し、未来っぽいものでもいいと思う。

会 長： 表紙のイラストについて、将来的には自動運転になったり、歩いて楽しいエリアになるとよいと思う。セグウェイみたいな未来的な乗り物もあるとよい。構図よりもワクワク感と人の表情が大事だと思う。

委 員： イラスト、デザインについては、細かく指示しすぎるとイラストの良さがなくなるので注意が必要だと思う。

会 長： 今回が最後の市民懇談会となりますので、感想等あればお願いします。

委 員： 30年後を見据えて楽しいまちづくりを期待しています。

委 員： 直接会ってやりたかったなというのが感想です。

委 員： 夢のある那須塩原駅周辺になってもらいたいと思います。

委 員： 30年先の未来。自分の孫たちの世代になっていると思う。もっとたくさんの人を巻き込んでまちづくりを進めていってほしい。

委 員： 西口に無料 Wi-Fi スポットを設置すれば、高校生も観光客もたむろすると思います。

委 員： マルシェ・イルミネーションなど、何年もやっている。住民が一步踏み出している人に続けということで、その輪が大きくなり、そういった人を応援する風土が醸成されるとよい。

会 長： 直接会ってやれなかったのが、残念ですが、今後もまちづくりにかかわってほしい。実験的な取り組み、屋外空間で何か始まったなという感じを出していきたい。その際には御協力をいただければと思います。

委員の皆様から御意見がなければ、進行を事務局にお返しします。

事務局： 皆様、貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。皆様の御意見を踏まえて一部修正し、確定稿としたいと思います。本年度の市民懇談会は、今回が最終となりますが、来年度以降のロードマップの作成につきましても御協力をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

1年間ありがとうございました。

4 その他（事務局からの事務連絡）

5 閉 会（午後5時00分）